

市への意見・要望（分野：教育）

（令和 6 年 1 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日受付分）

受付日	件名	意見・要望の内容	市の回答・対応	担当課
3/7	学校給食について	先日あった学校給食のウズラ卵をノドに詰めて死亡する事故を受けて、学校給食の白玉団子等の提供を中止するという内容の手紙を持って帰ってきました。 どんな食べ物でもよく噛んで食べるよう家でも話をしたのですがその際娘から「準備が遅れたりすると 10 分ぐらいで食べ終わらないといけない時があるから大変。」と聞きました。 毎日では無いようですが、子どもたちにとって学習と同じぐらい大切である給食の時間があまりにも短いのではないかと驚きました。 指導要領に沿った学習内容をこなし、子どもたちに指導しながら給食の準備を済ませるのはとても大変だと思います。 子どもひとりひとりの食べるスピードも違うでしょうし、難しい事もあると思います。 ただ、せっかくの給食が時間に追われながらになると特に低学年などではメニューの変更をしても同じような窒息の事故が起こるのではないかと懸念しております。 食育の観点からも、どうか子どもたちがゆとりをもって給食を食べる事ができるような時間の確保をお願いしたいと思います。	先日の学校給食における事故を報道等で知り、市教育委員会としましても、とても心を痛めております。 給食時間については、おっしゃる通り、食育の観点からとても重要な時間と考えています。また、子どもたちが楽しみにしている給食の時間に、先生や友達と楽しく食事をすることを通して、より良い人間関係を育むことができると思います。更に、健康に良い食事のとり方や給食の準備や後片付けの仕方を学ぶことも、給食の時間の大切な学びです。そのためにも、適切な給食時間を確保し、給食の準備から後片付けを含めて、計画的・継続的に指導する必要があると考えています。 今回、適切な時間が確保されずに、ゆとりをもって給食を食べることができない時があると伺いました。 各学校において、適切な給食指導ができるように、時間割の検討や文部科学省における「食に関する指導の手引き」に則り、引き続き指導してまいります。	学校教育課